

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年 2月 日

事業所名 幹らんど

		チェック項目	はい	いいえ	未記入	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	23	3	1	・人数が多くなると狭いが、らんどとはうすで別れて遊んだりして調整している。 ・児童発達支援と指導訓練室の区別がなく、順番に1人ずつリハビリをしている。	・利用児が多い場合、スペースの確保が難しい。 ・子ども人数や年齢、活動、遊びなどから考えると少し空間が狭くなってきているように思われる。 →パーテーションなどを使って工夫していきます。
	2	職員の配置数は適切であるか	26		1		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	23	2	2	・車いすのためのスロープを設置している。 ・ブレイルルーム、食事スペースを分けている。 ・バリアは残っています。 ・おうちに近い環境となっているため	・一部バリアフリーになっていない所がある。 ・構造化はされているが、情報量が多い。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	25	2		・適宜、評価して環境整備している。 ・子どもたちの人数や活動内容に合わせて、別室に移動し、対応している。	・子どもたちの口に触れたおもちゃなどの片づけについて検討 →拭いてUV消毒を継続していく ・重度児が過ごす空間の工夫が必要だと思う。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	23	2	2	・代表との面談	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	22	1	4	・保護者の方にも同様に評価表を渡して実施している。 ・保護者から聞いたことは職員間で共有し、改善につなげるようにしている。	・わからない。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	20	2	5	・職員間で情報共有する。	・ホームページでの公開はない。 ・わからない。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	14	4	9		・幹らんどの監査はまだ受けていない。 ・わからない。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	25		2		
適切な支援の	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	26		1	・計画書を作成して、保護者に提示している。 ・多職種での連携 ・週1回の定期カンファレンス	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	18	4	5		
	12	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	25		2	・絵カード他、月単位だけでなく、一日の計画も設定している。	
	13	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	25		2		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	24	1	2	・関わるスタッフと話し合っ作成している。 ・偏りがあったので、立案も交代で考えていこう話し合った。 ・季節の行事、製作については、保育士を中心に立案されている	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	25	1	1	・個別性を考えている。 ・季節に応じた行事等たくさん工夫がされている。 ・屋内外の活動、集団と個別活動など工夫している。 ・週間プログラム、1日のプログラムはないが、その時の気候や天気に合わせて適宜変更されている。	

提供	16	(放課後等デイサービスののみ) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	2	18		
	17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	24		3		
	18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	22	2	3	・スタッフが集まった時には注意点や活動したいことなど話し合っている。	
	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	23	2	2	・終了後は、反省なども含めて共有している。 ・その都度、話し合っている。内容によっては、カンファレンス時に話し合っている。	・職員の帰る時間がバラバラであるのと長時間の子どももいるため、振り返りができない日が多い。 →必要なことは、ふりかえりノートで共有しています。
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	26	1			
	21	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	23	1	3	・10月にモニタリングを行っている。	
	22	(放課後等デイサービスののみ) ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	7	1	19		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	23	1	3	・常に関りを多く持ち、情報、状態を把握しているものが参加している。	・機会は少ない。
	24	(児童発達支援のみ) 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	26	1		・見学者、学生の実習も多くあり、常にオープンな状態である。	
	25	(放課後等デイサービスののみ) 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7	2	18		・子ども総合の担当の人が入っている。
	26	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	25	1	1		
	27	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	25	1	1	・母を通じて情報交換している。	
	28	(児童発達支援のみ) 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	25	1	1	・保育園と交流し、医ケアの子の活動をみてもらった。	
	29	(児童発達支援のみ) 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	22	2	3	・小学校(支援学校)にあがる子どもの様子をみに来られ、情報共有を行った。	
	30	(放課後等デイサービスののみ) 就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7	2	18		
	31	(放課後等デイサービスののみ) 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	3	19		・対象なし。
	32	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	19	2	6		・わかりません。
	33	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	19	2	6	・医ケアのある子どもが保育園で交流活動した。	・一部の子はあるが、全体ではない。 ・感染リスクもあり難しい。 ・今年度は、1度だけであったので、来年度は機会を増やしていきたい。 ・わからない。 →保育園に通園している児が、不定期で発達支援を利用し、交流し
	34	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	11	5	11		

	35	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	26		1	・毎日、通所や退所の時にその日の様子など細やかに伝えている。 ・登園時や降園時に保護者と話し合いができています。	
	36	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	15	7	5	・プログラムは行っていないが、相談があった時や必要時は支援を行っている。	・わかりません →WEB開催の研修の案内は適宜行っています
保護者への説明責任等	37	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	27				
	38	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	25		2		
	39	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	26		1	・定期的ではなく、不定期、随時ではあるが、個々に合わせ、相談、助言を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	21	2	4		・わかりません。
	41	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	27			・個々に対する相談やアドバイスには、しっかりと時間を取り、対応している。	
	42	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	18	4	5	・会報は発行していないが、写真などで活動を知らせている。 ・保護者了承のもと、SNSで発信している。 ・不定期ではあるが、SNSを通じて発信している。	会報の必要性を保護者の意見も参考にしながら検討したいと思います
	43	個人情報の取扱いに十分注意しているか	27				
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	26		1		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	23		4	・秋まつり ・事業所行事、秋まつり、幹ギャラリー、幹カフェなど	・わかりません。
非常時等の対応	46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	27				
	47	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	26		1	・実際の訓練の実施。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	27				
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	24	2	1	・母による問診の上、対応している。 ・食事、おやつは、自宅から持参。	
	50	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	24		3	・インシデントの共有をしている。	・わかりません →毎週金曜にカンファレンスで共有し、その後1週間くらいかけて全スタッフで共有できるよう伝達していきます
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	25		2		・わかりません。
	52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載しているか	21	2	4	・身体拘束をしていない。 ・身体拘束を行うような児はいない。 ・親が子どもミトンをしていたとしても見守って、できるだけ外している。	転倒転落防止ベルトが必要な児には保護者にも説明し、同意を得たことを計画に記載していく

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。